

## 「地域づくりの目標」に関連するデータ

《第2回勉強会で要望のあった資料》

- ① 「中長期財政見通しにかかる将来人口の予測データ」について（沼津市提供資料）
- ② 「中心市街地における定住人口増加に向けた沼津市のこれまでの取り組みと結果」  
について（沼津市提供資料）  
沼津市中心市街地活性化基本計画 [抜粋]  
平成23年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告 [抜粋]

## ①「中長期財政見通しにかかる将来人口の予測データ」について

## 財政見通しにかかる将来人口の予測について

- 平成 22 年度の財政見通しの改定に際し、将来人口は市独自では予測していない。
- 財政見通しを改定するにあたっては、「経済財政の中長期試算」（内閣府公表）等に準拠して名目経済成長率を設定し、市税収入などを算定している。
- この名目経済成長率には、前提となる生産年齢人口の算出などに、人口の減少や少子高齢化の進展など、人口動態の影響も盛り込まれている。

## &lt;参考&gt;

- 「経済財政の中長期試算」（内閣府公表）における将来人口の予測については、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所推計）の出生中位、死亡中位を利用している。
- 「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所推計）による財政見通し期間の人口減少率は約 3.8 %
  - ・ 財政見通し期間 : 平成 23 年から平成 32 年までの 10 年間
  - ・ 平成 23 年推計人口 : 126,913 千人
  - ・ 平成 33 年推計人口 : 122,097 千人

② 「中心市街地における定住人口増加に向けた沼津市のこれまでの取り組みと結果」 について  
沼津市中心市街地活性化基本計画 [抜粋]

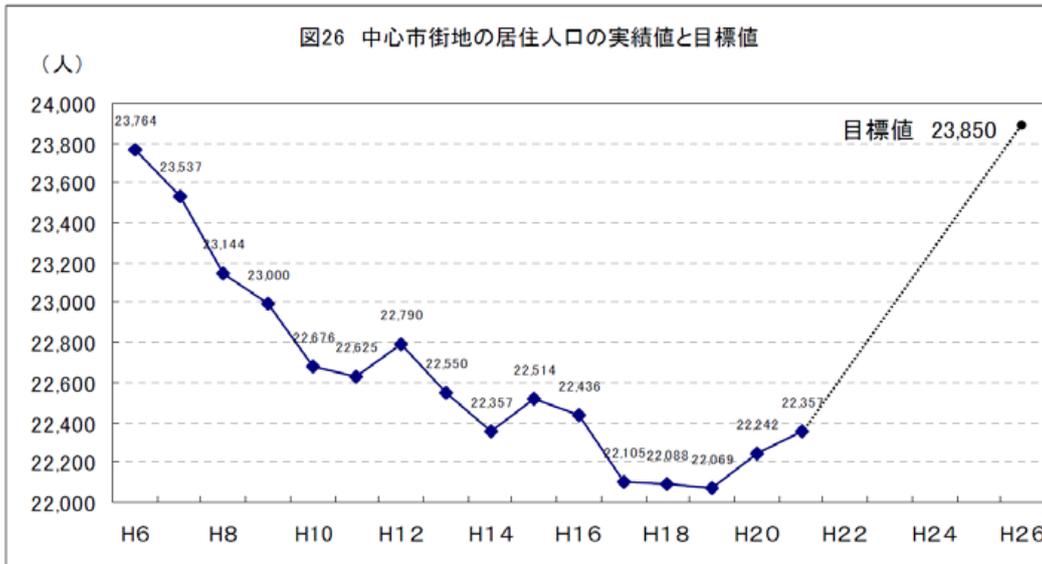
(2) 「定住人口の確保」に関する数値目標の考え方

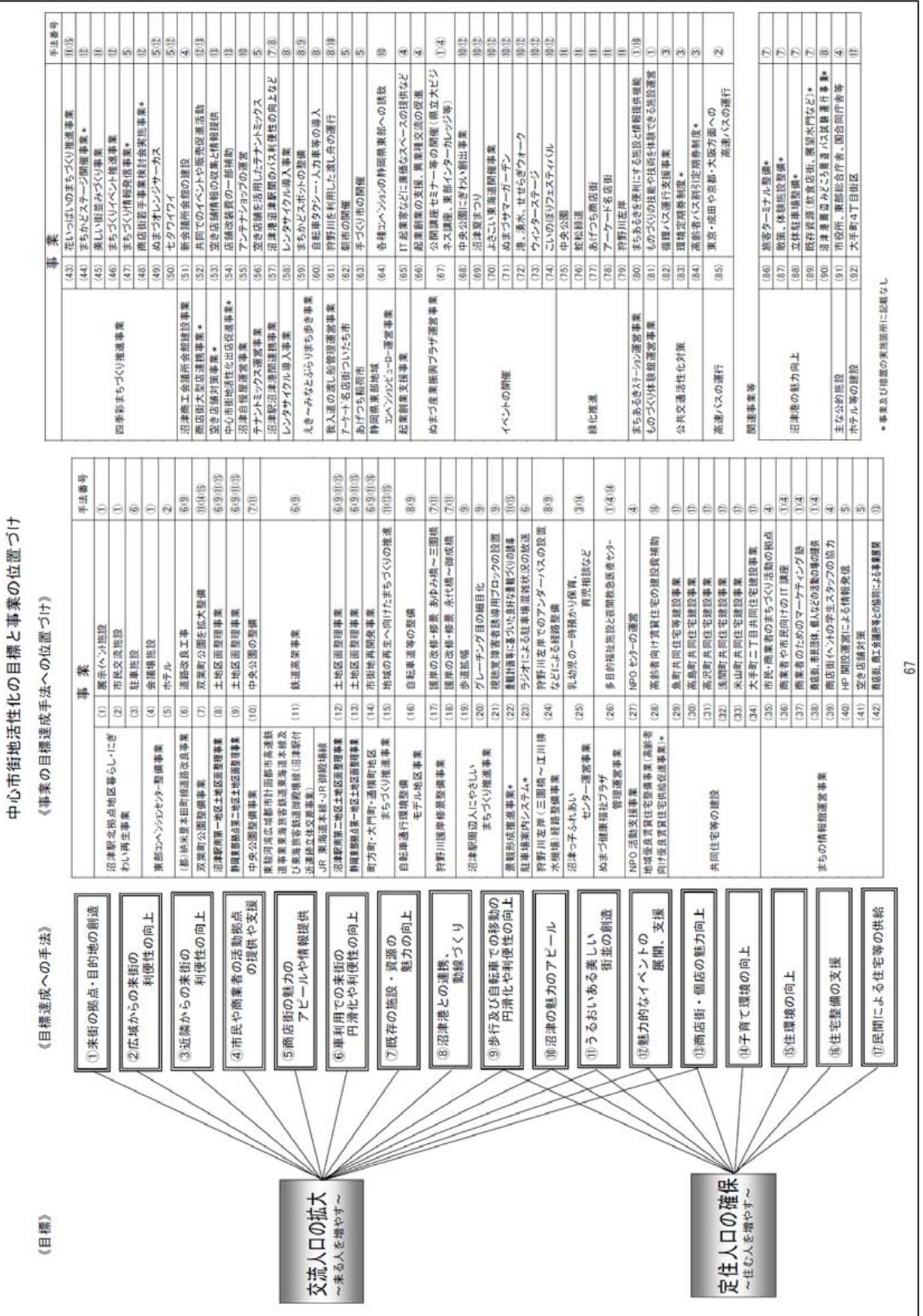
1) 「中心市街地の居住人口」

①数値目標

長期的に減少傾向にある中心市街地の居住人口は、ここ数年の沼津駅周辺における分譲マンション供給などによる都心居住回帰の傾向を反映し、平成 20 年から増加を示したが、このことによりこれまで長く続いた減少傾向が反転し、今後も継続的に増加が続くとは想定できない。

このような状況にある中心市街地の居住人口の一層の増加を図るため、高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業や土地区画整理事業の推進とともに、魅力あるまちづくりによりさらなる民間の住宅供給を誘導し、居住人口の約 6.5%の増加、2 万 3,850 人を目標とする。





- ② 「中心市街地における定住人口増加に向けた沼津市のこれまでの取り組みと結果」について  
平成 23 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告 [抜粋]

平成 23 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告						
					平成 24 年 3 月 沼津市（静岡県）	
I. 平成 23 年度フォローアップ結果のポイント						
○計画期間;平成 21 年 12 月～平成 27 年 3 月(5 年 4 月)						
1. 概況						
<p>東日本大震災や世界的な景気の低迷の影響を受け、本市の中心市街地を取り巻く状況は依然として厳しいものがある。特に、東日本大震災以降、予想される東海地震等による津波被害などが想定される本市の中心市街地は、新規出店やマンション建設が敬遠される傾向にある。</p> <p>こうした中、沼津市では平成 23 年度を開始年度とする第4次沼津市総合計画においても、中心市街地の活性化を重点的な取組として位置づけている。</p> <p>認定基本計画の取組状況としては、一部事業に進捗の遅れが見られるものの、計画に掲げた事業の着実な推進に努めている。特に、重点事業である東部コンベンションセンター整備事業は、平成 25 年に展示イベント施設が、平成 26 年には会議場施設・ホテルが開業の予定であり、開業による様々な効果が期待されている。</p> <p>計画に記載された 60 事業のうち、29 事業が実施中、18 事業が完了、13 事業が未完了(うち 3 事業が未着手)である。</p>						
2. 目標達成の見通し						
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
交流人口の拡大	中心市街地の歩行者自転車通行量(日曜日)	75,112 人	76,700 人	59,304 人	—	①
定住人口の確保	中心市街地の居住人口	22,357 人	23,850 人	22,024 人	—	②
<p>注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。                  ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。                  ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。                  ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。                  ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。</p>						
3. 目標達成見通しの理由						
<p>・交流人口の拡大</p> <p>中心市街地の歩行者通行量は、過去 2 年間減少傾向にあるが、今後、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業の工事完了や、東部コンベンションセンターの開業等によって状況は改善され、目標指標の計画期間内の達成は可能であると見込まれる。</p> <p>・定住人口の確保</p> <p>基本計画認定以降の中心市街地の人口は微減傾向にある。静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業、民間のマンション建設を始めとした取組は概ね順調に進捗しているが、老朽化した共同住宅の閉鎖、一部事業の遅れや東日本大震災の影響もあって現状では目標達成</p>						
沼津市-1						

が困難であると見込まれ、今後対策を講じる必要がある。

**4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由**

前回フォローアップは実施していない。

**5. 今後の対策**

引き続き、東部コンベンションセンター整備事業を始めとする認定基本計画に基づいた取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

また、定住人口の確保のために、土地区画整理事業の一層の進捗を図って人口の回帰を促すとともに、減災対策の徹底など安全・安心なまちづくりの推進や、更なる居住環境のアピールに努める。